

「きらめき公募事業」

11/4(土)・5(日) (市民体育館)

小倉百人一首かるた競技全国大会



▲本市出身の永世クィーン久保久美子さん (左)

かるた競技は 豊の上の格闘技

全国から、36都府県の選抜チームが参加した「小倉百人一首かるた競技全国大会」が、11月4日・5日の2日間にわたって、市民体育館で開催されました。山口県選抜チームは、本市出身の永世クィーンや元クィーンを擁するドリームチーム。1チーム5人の団体戦で勝敗を競った今大会、県選抜は惜しくも決勝トーナメント進出は逃したものの、選手たちが1/100秒を争う姿はかるた競技の魅力伝える迫力あるものばかりでした。



300人が争った 100分の1秒



▲豊を敷きつめた会場で、全国から集まった36チームが熱戦を繰り広げました。大会は決勝で東京都に競り勝った福井県が制しました。



ご存知ですか？「かるたの小野田」

昭和47年から4年連続クィーン位を保持した今村美智子(旧姓:沖)さんや昭和56年に史上初の「永世クィーン」に輝いた久保久美子(旧姓:堀沢)さん(8年連続クィーン)などを輩出した旧小野田市は、かつて「かるたの小野田」として全国にその名を轟かせました。

▲永世クィーン 久保久美子さん (昭和56年当時)

「多くの人の方に感謝しています」

本市出身の元クィーン・今村美智子さん

「ボランティア・スタッフの方々をはじめ、本当にたくさんの方に支えられて実現した全国大会の地元開催です。かるたは年齢に関係なく楽しめる競技。この大会がかるた競技の普及のきっかけになることを願っています。」



▲主将として県選抜チームを率いた今村さん (左)